

1. 総合的な渇水対策の策定業務

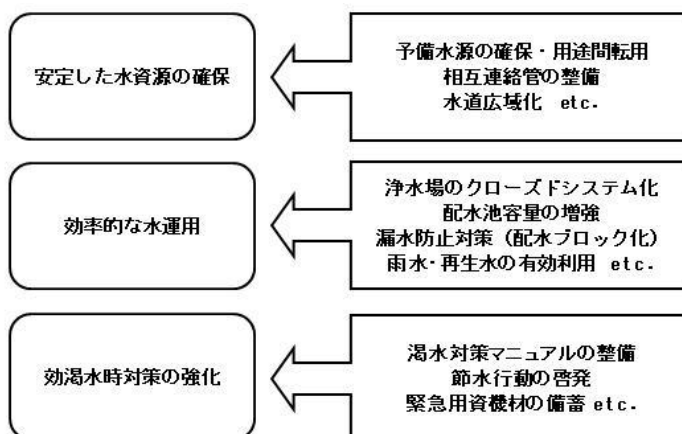
概要

近年の少雨化傾向により、渇水の発生する頻度が高くなっています。清浄な水の安定給水を前提としている現代社会においては、渇水に伴う減水や断水は市民生活及び産業活動に大きな影響を及ぼします。水道事業においては、安定した水道水源の確保や渇水時対策が重要課題となっており、地域特性を踏まえた規模の渇水に対し水道システム全体で安全性を確保する必要があります。

業務実施のメリットや効果

- ① 安定した水資源の確保
- ② 効率的な水運用
- ③ 渇水時対策の強化

【渇水対策検討事例】



本業務では地域特性を考慮した渇水リスクを把握し、現有施設の有効活用を踏まえたうえで、水道システム全体の安全性の向上を図ります。長期的に安定した水源の確保・分散、原水水質変動に対応可能な浄水施設の整備、更には効率的な水運用を可能とする管理設備を計画し、渇水時対策を事前に整備することで、気候変動に強い安定した水道システムの提案を行います。

【渇水対策の策定業務フロー】

